

小学校理科教育パワーアップ事業

テーマ

「自ら問い続けながら学び合い

科学的な思考力・表現力を育成するための授業づくり」

倉吉市立社小学校

○取組の目的と概要

目的 社小学校の児童の実態としては、明るく素直であるが、主体的に判断・行動する力が弱く、筋道を立てて考える力及び相手の思いを受け止める力が弱いことが挙げられる。思いを伝える力については、近年の研究の成果もありやや高まっていると言える。

そこで、本事業を活用し、「自ら問い続けながら学び合い科学的な思考力・表現力を育成するための授業づくり」を目指した教員の指導力向上を目標としたい。

- 概要
- ・自ら問い続けながら学び合い科学的な思考力・表現力を育成するための授業づくり
 - ・お互いを認め合える学級経営・学習環境づくり
 - ・地域拠点校としての情報発信、授業協力

○取組の具体

◇授業づくり 問題解決の過程を踏まえた学習シート（846ひらめきシート）を利用した学習展開
1学年2クラスの学級数を利用した授業研究



◇アンケート調査と取組の評価

理科学習アンケートを行い、傾向や課題の把握に努める

◇環境づくり 各教室における理科コーナーの設置

理科クイズなどの掲示を校内各所に掲示し、科学的興味の喚起



◇拠点校としての取組

中部小学校教育研究会（中小研）との連携

- ・中小研理科部の研究成果の還元と地区小学校への研究成果の発信
 - ・久米中校区小学校授業交流
 - ・定期的に学習公開の情報を共有し、学習交流が行える環境づくり
- 河北小学校との連携
- ・単元構成や学習展開の共同研究

○取組の成果

- ・理科学習を担当主導で行える力量を養うことができたこと
- ・問題解決的学習が定着しつつあること
- ・地域の小学校に研究成果や課題を発表し、理科学習の方向性を提示できたこと

○課題と今後の方向性

理科学習に限らず多くの教科領域で問題解決的な学習を行うことで、児童の課題意識を学習意欲の向上と学習内容の定着につなげたい。

